



ちしゅう

2024年度 学校だより
令和6年10月31日
千歳小学校 臨時号

歴史と伝統 未来へつなぐ

私たちは 誇り高い
千歳小学校の子どもです

か し こ く
やさしく
たくましく

学ぼう
つなごう
やりぬごう



千歳小 HP/URL…<https://chitose-edu.jp/chitose-e/>

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果

保護者の皆さまには、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、千歳市の結果公表と合わせ、その概要をお知らせいたします。

この調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し教育施策の改善を図るとともに、学校における学習指導に役立てることを目的としております。本校では今回の調査結果を踏まえ、児童の学力向上に向けたプランを作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んで参ります。

I. 教科に関する調査結果

国 語

⇒ 全国の平均正答率と比較して「相当高い」という結果でした。

①学習指導要領の内容別の結果

すべての領域において全国平均を上回りました。

話すこと・聞くこと

この領域の問題は全部で3問。目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関係付けたりして、伝え合う内容を検討する問題が2問、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する問題が1問出題されました。その中の1問について、正答率が全校平均をやや下回っています。

⇒次頁①参照

書くこと

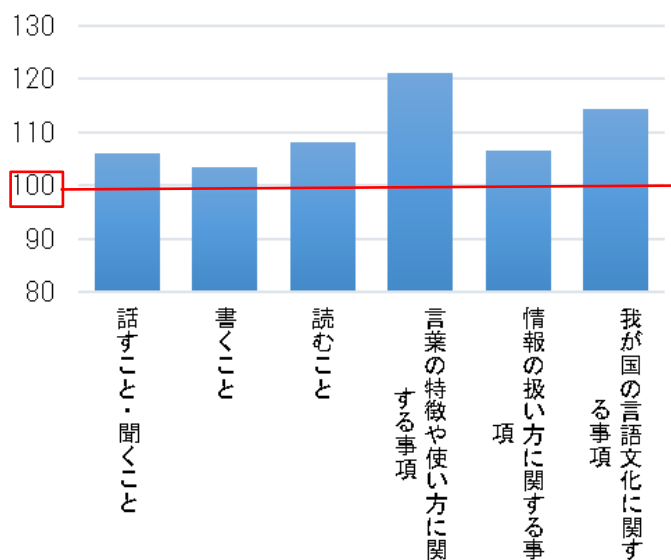
この領域の問題は2問。目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題と集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする問題が出されました。その中の1問について、正答率が全校平均を下回っています。

⇒次頁②参照

読むこと

この領域の問題は3問。人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる問題、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる問題等が出されました。3問ともよくできていました。

全国を100と見た場合の千歳小の国語内容別正答率



言葉の特徴や使い方に関する事項

この領域の問題は4問。漢字を文の中で正しく使う問題が2問、話し言葉と書き言葉との違いについての問題が1問、主語と述語との関係について1問出題されました。3問ともよくできていました。

情報の扱い方に関する事項

この領域の問題は1問。情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解する問題が出題されました。よくできていました。

我が国の言語文化に関する事項

日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる問題が出題されました。よくできていました。

全国より正答率が低かった問題①

8 本に興味をもってもらえるようになるのはいいですね。ぜひやってみます。

9 次に、私たちの学校の給食についてしょうかいしたいのですが、いいですか。

10 お願いします。

11 アイデア給食というものがあります。年2回、自分たちが考えたこんだてが登場します。海に近くて、魚がたくさんとれるので、魚料理などを考えます。みんなでアイデアを出し合ったこんだてが登場するので、アイデア給食と呼んでいます。

12 みんなで考えたこんだてが出るなんてうらやましいです。私の学校は、ランチルームがあり、全校のみんなで給食を食べます。

13 みんなで食べられるなんて、楽しそうですね。

14 はい。給食の時間が楽しみです。ところで、和田さんの学校は、海に近いということですが、他にも、海に近い学校ならではの取り組みはありますか。

15 えっと…〔和田さんのメモ〕を見返す、二つあります。総合的な学習の時間の取り組みと、砂浜の清掃活動です。

16 二つもあるんですね。ぜひ、一つ一つくわしく教えてください。

～（交流が続く）～

深緑小学校 村木さん 海風小学校 和田さん

2 はじめまして。深緑小学校の村木です。今日は、とても楽しみにしていました。

1 はじめまして。海風小学校の和田です。よろしくをお願いします。

3 メールありがとうございました。図書委員会のことを知りたいということでしたので、まず、海風小学校の図書委員会の取り組みのしょうかいで、読書イベントが、月に1回、図書委員会で、クイズなどをして、私もそれに参加して、今まで読んだことがない分野の本を読みました。

4 せっかく教えてもらったのですが、だれが何をしているのが分からなくなったので、もう一度教えてもらえませんか。

5 説明がよくなかったですね。話し方を変えますね。図書委員会が、月に1回、クイズなどの読書イベントをしてくれます。私もクイズに参加しました。今まで読んだことがない分野の本を読むことができました。

6 よく分かりました。おもしろそうですね。

7 そうなんです。先月の読書イベントでは、図書委員がさまざまな分野から本を選び、本の内容からクイズを出題してくれました。これが、実際に出題されたクイズが書かれたカードです。私も参加することで、科学の本に興味をもつことができました。

【オンライン交流の様子の一部】

(2) 和田さんは、村木さんの発言⑥を受けて、発言⑦のように話しました。和田さんの話し方のくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 相手が興味をもっていることに気づき、相手の言葉を引用して話した。
- 2 相手が興味をもっていることに気づき、用意していた実物を示しながら話した。
- 3 相手が興味をもっていないことに気づき、言葉の意味を説明しながら話した。
- 4 相手が興味をもっていないことに気づき、自分の体験を加えて話した。

【問題の趣旨】

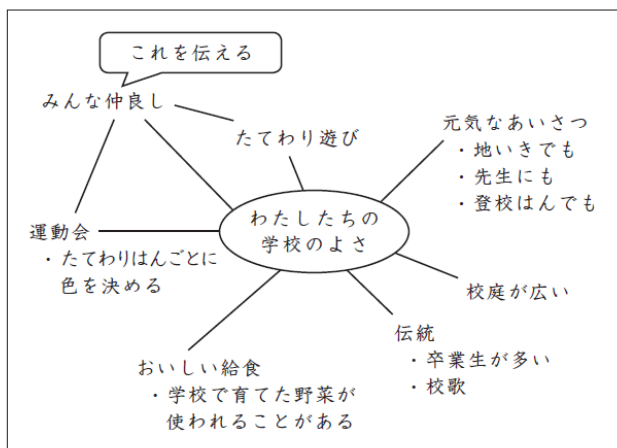
資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。和田さんが、「よく分かりました。おもしろそうですね。」という村木さんの発言を受けて、相手が興味をもっていることに気づき、用意していた実物を示しながら話したことを捉える必要がある。

【正解 2】

誤答としては「1」と回答した児童が大半です。文章を最後まで読み、重要な語句等に線を引くなどして、要旨を素早く捉えることが必要です。

全国より正答率が低かった問題②

【高山さんのメモ】



【高山さんの考え】

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも1年生から6年生までが同じ「たてわりはん」で活動していて、みんなが仲良しになる。このことが学校の一番のよさだと思うから、文章に書こう。



- (1) 高山さんは、文章に書くことを決めるために、どのように考えましたか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 賛成と反対の両方の立場から考えた。
 - 書きやすい順番を考えた。
 - 他の人の考えを取り入れて考えた。
 - 集めた情報の共通点を考えた。

【問題の趣旨】

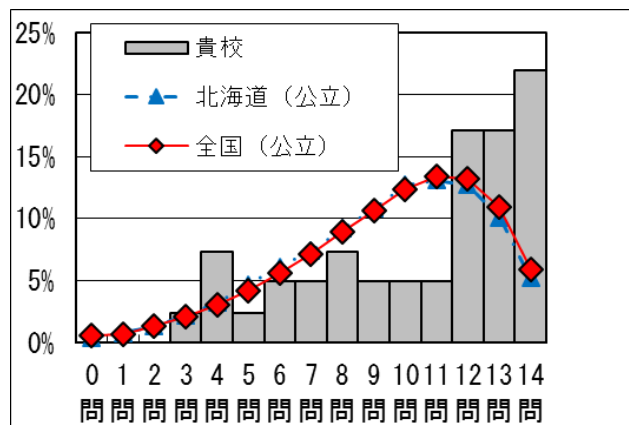
目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。集めた情報の中から、「たてわり遊び」と「運動会」の関係を結び付け、「みんなが仲良しになる」という共通点を考えていることを捉えることが求められる。

【正解 4】

誤答としては「2」と回答した児童が多い。集めた情報の共通点を考えていることを捉えることができていないと考えられる。

②正答数の分布

正答数が12問以上の児童の割合は、全国を大きく上回っています。一方、正答率が4問以下の児童の割合は9.7%です。平均すると正答数は全国をかなり上回っている状況ですが、いわゆる伸びしろ層が一定数います。全ての児童にしっかりと基礎・基本となる学力を身に付けさせるよう引き続き指導して参ります。



★学校ではこのような指導をします★

- 自分の意見を述べるだけでなく、友だちの意見をよく聞いて理解し、自分の意見と比較しながら考えを深める「対話」を通して、全ての子どもの資質・能力の向上に努めます。
- 書く学習では、様々な情報の中から必要な情報を見つけ出し、関係性を見いだすなどして、伝えたいことを明確に表現することができるようにします。
- 読みやすさを考えて漢字を正しく書くこと、文章の種類とその特徴を理解する活動に取り組みます。
- 読む学習では、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることや、目的に応じて、中心となる語や文を見つけて要約する活動に取り組みます。
- キーワードや文字数を意識した条件付き記述問題に対応できるよう、類似問題に取り組みます。

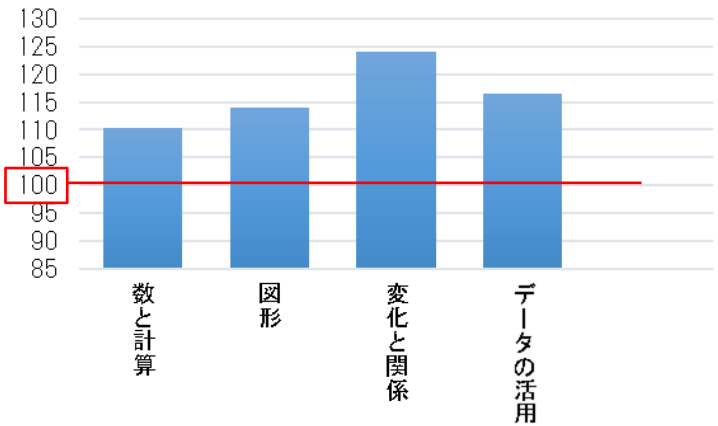
算 数

⇒ 全国の平均正答率と比較して「相当高い」という結果でした。

①学習指導要領の領域別の結果

すべての領域において全国平均を上回りました。

全国を100と見た場合の千歳小の算数内容別正答率



数と計算

この領域の問題は6問。数量の関係を捉え、式に表す問題が2問、求め方と答えを式や言葉を用いて記述する問題が1問、除数と商の大きさの関係についてなど除法の問題が2問、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断する問題が1問でした。その中の1問について全国平均を下回っています。 ⇒下記①参照

図形

この領域の問題は4問。直方体の見取図、直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係、球の直径の長さ、と立方体の一辺の長さの関係、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述する問題がそれぞれ1問ずつ出題されました。どれもよくできていました。

変化と関係

この領域の問題は速さ、道のりと時間の関係について問題が3問でした。その中の1問は、正答率が全国平均を下回っています。 ⇒次頁②参照

データの活用

この領域の問題は4問。円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る問題、落ちや重なりがないように分類整理する問題、必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する問題、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断する問題がそれぞれ1問ずつ出題されました。どれもよくできていました。

全国より正答率が低かった問題①

【問題の趣旨】

問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。数量の関係をつかみにくい問題の解決において、問題の文脈に沿って図などに表し、数量の関係を捉えることが求められる。

【正解 ア】

誤答としては「2」と回答した児童が多い。「少ない」という言葉から、誤って減法を選択したものと思われる。簡単な図を書くことで加法であることが分かるはずである。

ゆうまさんたちは、折り紙で遊んでいます。

(1) ゆうまさんは、折り紙を72枚持っています。

ゆうまさんが持っている折り紙は、こはるさんが持っている折り紙より28枚少ないです。

こはるさんが持っている折り紙の枚数を求める式を、下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア $72 + 28$

イ $72 - 28$

ウ 72×28

エ $72 \div 28$

全国より正答率が低かった問題②

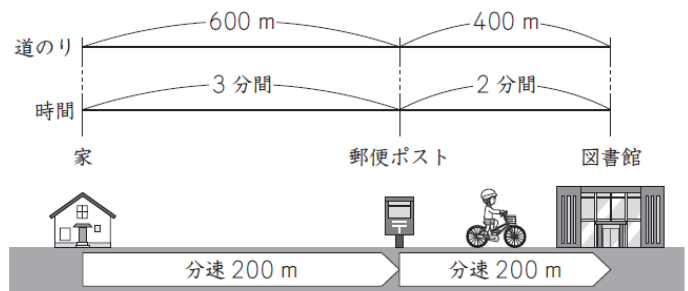
【問題の趣旨】

日常の具体的な場面に対応させながら、速さなど単位量当たりの大きさについて理解できるようにすること。速さの概念について確実な理解が求められる。

【正解 分速200m】

誤答としては「400m」と答えた児童が多くいました。様々な情報の記載があるが、速さは変わっていないことをつかめば、計算も必要ない問題です。速さは加法で求められるものではないことなど、速さの概念をもう一度確認する必要があります。

(4) たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を通って図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。



家から郵便ポストまでは、道のりは600mで、3分間かかり、速さは分速200mでした。

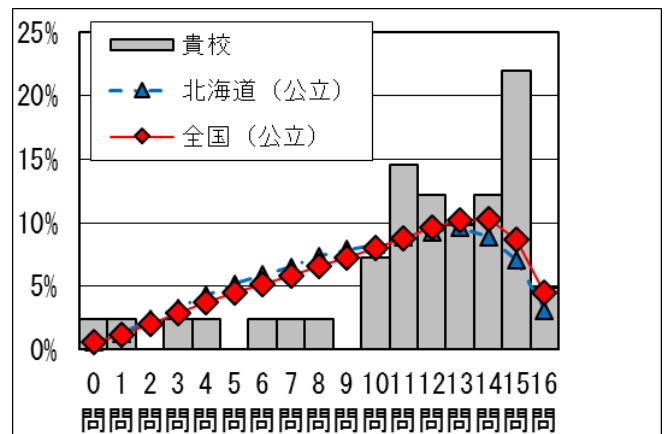
郵便ポストから図書館までは、道のりは400mで、2分間かかり、速さは分速200mでした。

家から図書館までの自転車の速さは、分速何mですか。

答えを書きましょう。

②正答数の分布

正答数が10問以上の児童の割合は全国を上回っています。一方4問以下の割合は、国語と同じく9.7%でした。中間層は比較的少なく、定着層と伸びしろ層の二極化が見て取れます。全体的に見るとしっかりと学力が定着していると言えますが、基礎・基本の定着を図ることはもちろん、日常の具体的な場面とリンクさせながら、数学的思考を培っていけるよう指導して参ります。



★学校ではこのような指導をします★

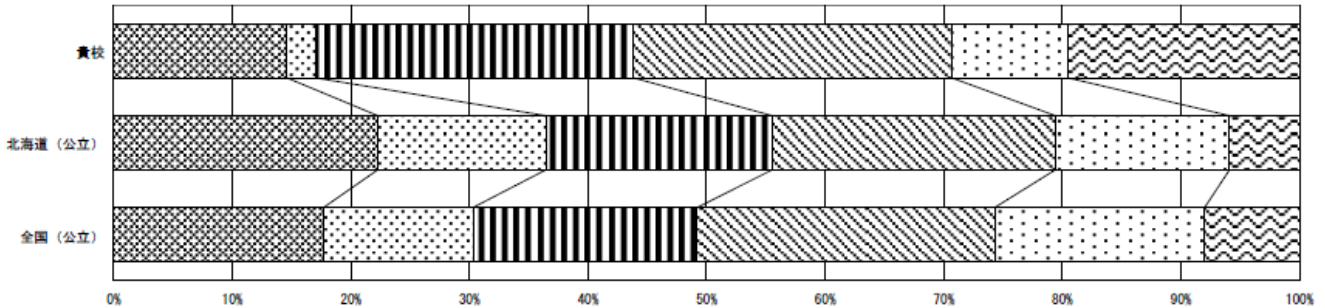
- 計算の学習では、簡単な図を書いて確認させたり、□を使った式を立てさせたりする活動を取り入れ、問題場面どおりに数量の関係を式に表す学習に取り組みます。
- 図形の学習では、実際に動かしたり描いたりする活動やICTを活用して具体的なイメージを持たせるなど、図形の意味や性質について理解させます。また、図形の意味や性質を基に図形の構成の仕方について考察したりすることができる力を身に付けさせます。
- 変化と関係の学習では、伴って変わる二つの数量の関係について、変化の特徴を考察して規則性を見つけしていくことができるようにします。特に「速さ」については「道のり」と「時間の関係」についてしっかり身に付けさせます。
- 日常生活の問題を解決するために、目的に応じて収集したデータを分類整理し、表やグラフを用いて、身の回りの事象について考察できるようにします。また、グラフの特徴を理解し、情報を読み取ることができる力を身に付けさせます。
- 習熟度別指導による指導や学習支援員の活用、重点単元を指定して学習する、A I ドリルを効果的に活用する等、一人一人にあった方法で力を伸ばす取組を充実させます。

Ⅱ. 学習状況調査（児童質問紙）から

ゲーム、スマホ等に関すること

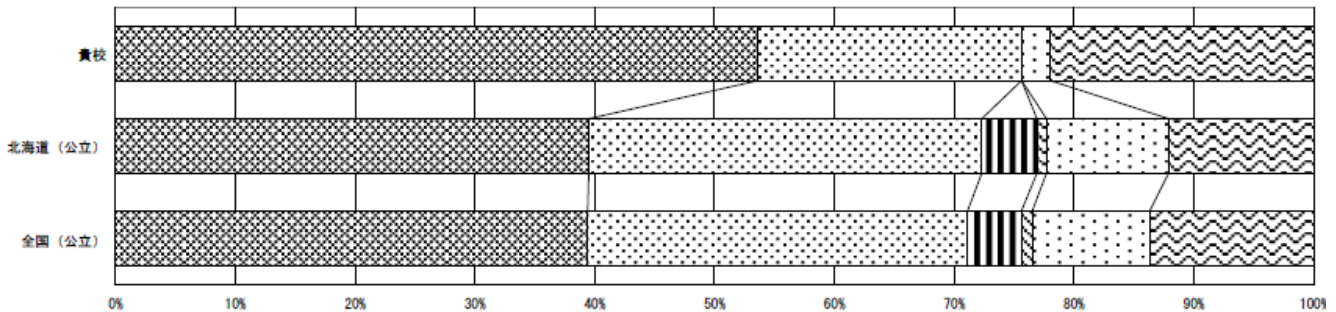
○普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

□1. 4時間以上 □2. 3時間以上、4時間より少ない □3. 2時間以上、3時間より少ない □4. 1時間以上、2時間より少ない □5. 1時間より少ない □6. 全くしない □その他 □無回答



○携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

□1. きちんと守っている □2. だいたい守っている
 □3. あまり守っていない □4. 守っていない
 □5. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない □6. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない
 □その他 □無回答

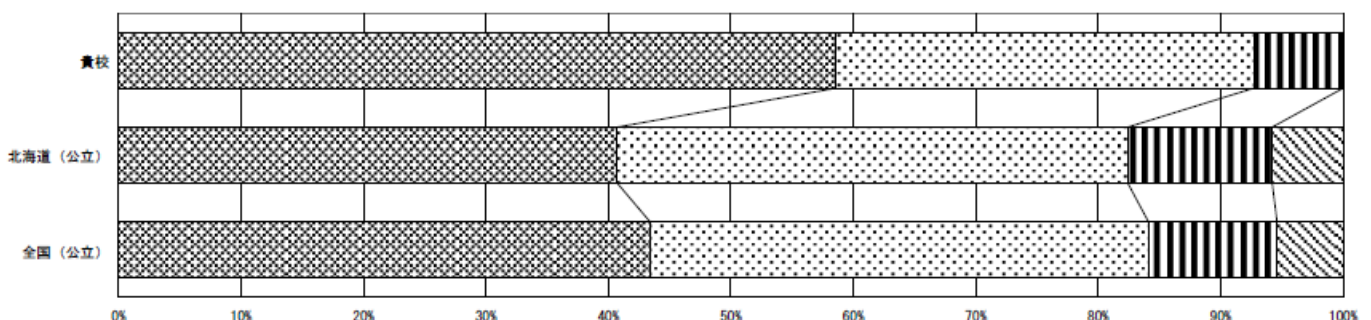


全国に比べると本校の6年生はゲームをしている時間は短くなっています（動画視聴やSNSの利用時間も含む）。また、家の約束をしっかり守っている児童が多いことが見て取れます。本校で行っている「生活を見直す週間」の取組と合わせ、家庭とも連携しながらメディアに触れる時間や約束等について引き続き指導して参ります。

自己有用感・達成感

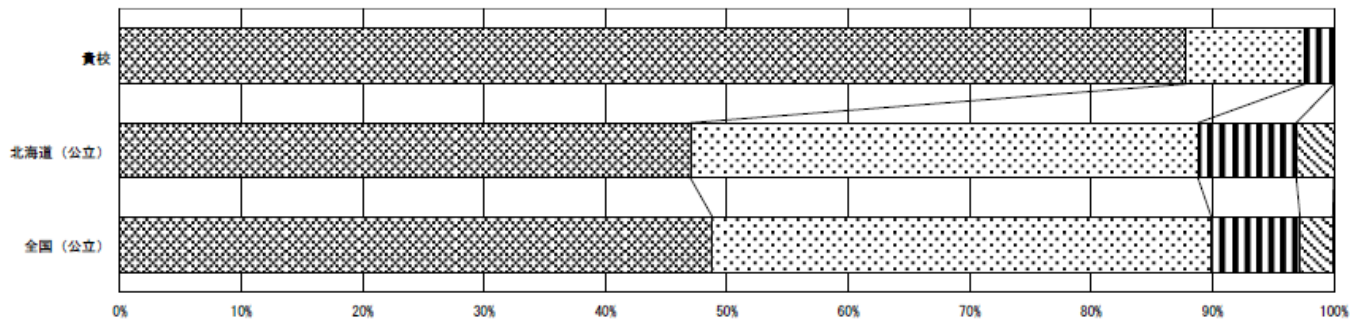
○自分には、よいところがあると思いますか。

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

☐1.当てはまる ☐2.どちらかといえば、当てはまる ☐3.どちらかといえば、当てはまらない ☐4.当てはまらない ☐その他 ☐無回答

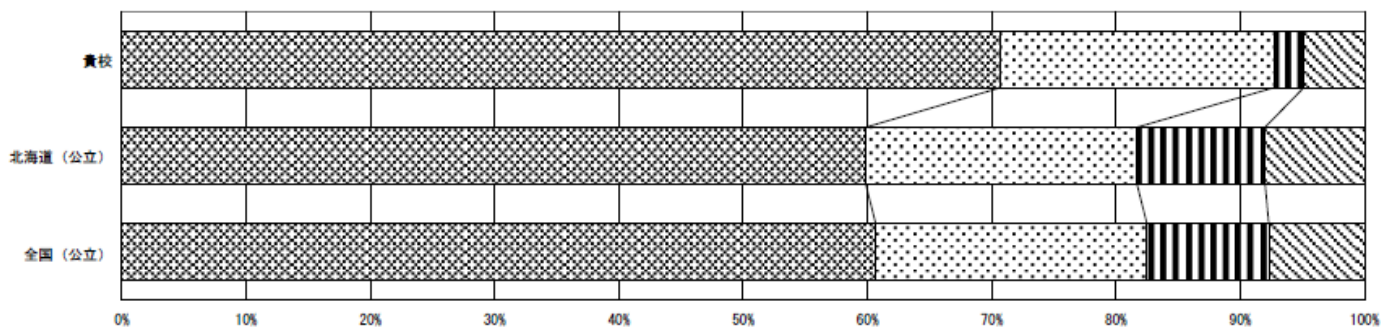


いずれの質問についても「1.当てはまる」と回答した児童は全国を大きく上回りました。一人一人が様々な経験を積み、自分に自信を持って活動することができていることが伺えます。また、学年・学級の中でも「自分が認められている」と心理的安心感を持って過ごしていることが分かります。今後も子どもたちが生き生きと活躍できる学校づくりに努めて参ります。

挑戦心・夢

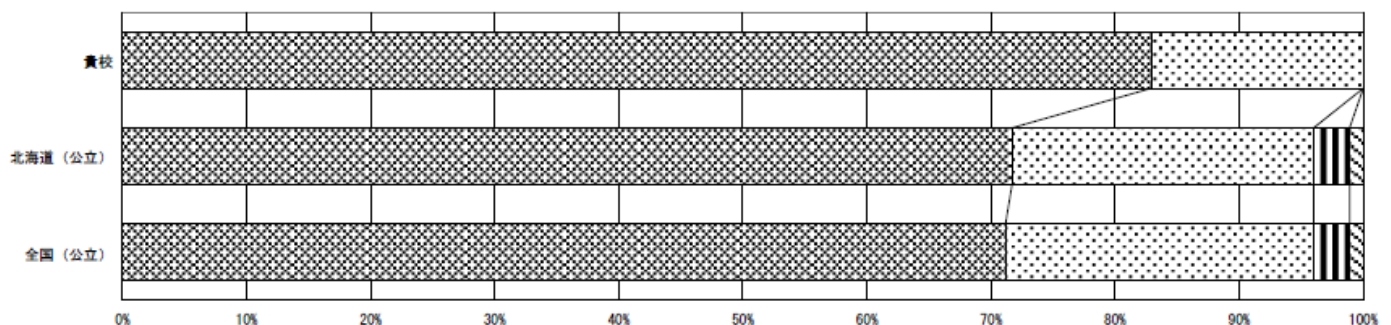
○将来の夢や目標を持っていますか。

☐1.当てはまる ☐2.どちらかといえば、当てはまる ☐3.どちらかといえば、当てはまらない ☐4.当てはまらない ☐その他 ☐無回答



○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

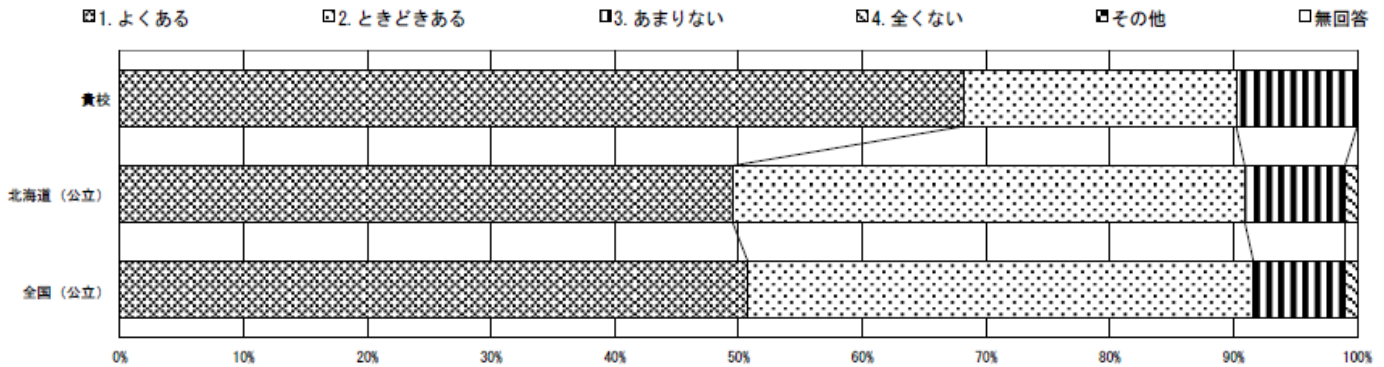
☐1.当てはまる ☐2.どちらかといえば、当てはまる ☐3.どちらかといえば、当てはまらない ☐4.当てはまらない ☐その他 ☐無回答



いずれの質問についても「1.当てはまる」と回答した児童は全国を上回っています。前述の「自己有用感・達成感」が基盤となって、児童一人一人が将来の自分のイメージを前向きに捉えていることが分かります。引き続き、キャリア教育等を通して、将来の自分像をイメージしながら様々な活動に取り組むことの重要性を指導していきます。

幸福感

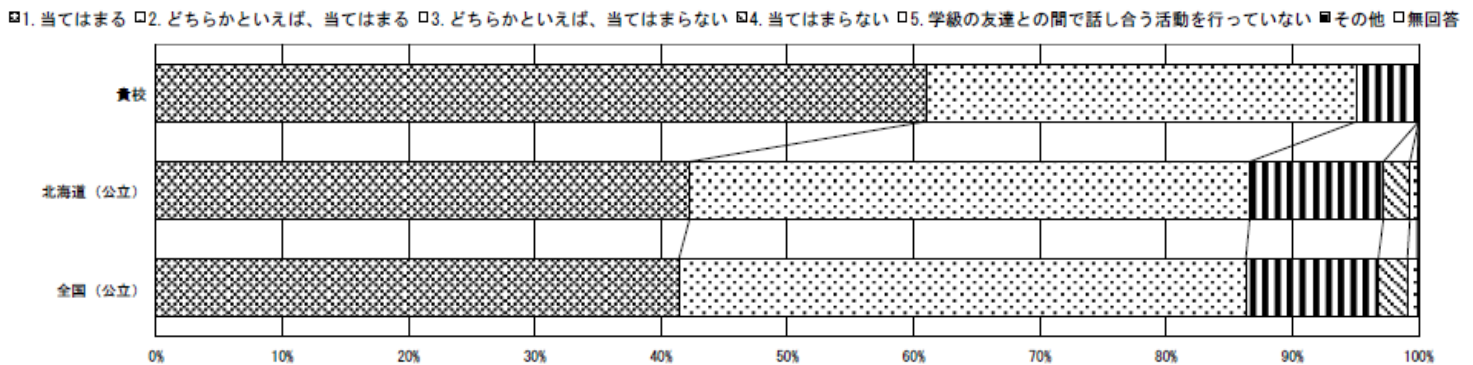
○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。



昨年度から導入された質問項目で、いわゆる「ウェルビーイング」に関する質問です。「ウェルビーイングとは「身体的・精神的・社会的に良好で満たされた状態にあること」とされています。「1.よくある」と回答した児童は全国を大きく上回っています。学校の中でも児童一人一人が幸せな気持ちになり、持てる力を存分に発揮できるよう支援して参ります。

「対話」を取り入れた学習

○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。



「1.当てはまる」「2.どちらかといえば、当てはまる」を合わせると9割を超えています。先の見通せない社会の中で、一つの解だけでは解決できない事象が多くなっています。「対話」を通して、「最善解」「納得解」を見つけていくことが、これからの社会を生き抜く力になることと思います。学校でも「対話」を重視した授業を展開し、子どもたちに生きる力を身に付けさせていきます。

今後も学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」の実現を目指し、教育活動を推進して参ります。